

## 胃がん手術後の低血糖予防に関する研究

### ① 共同研究・産学連携への意気込み



教授  
大辻 英吾

胃切除後の低血糖を予防する薬物・食事療法の開発を目指しています。  
多施設共同前向き臨床試験を立案予定です。

### ② 想定される連携先・移転先

経口血糖降下薬、経腸栄養剤を扱っている製薬・食品メーカーとの共同研究を希望します。

## キーワード

胃切除後、ダンピング症候群、低血糖、持続血糖測定

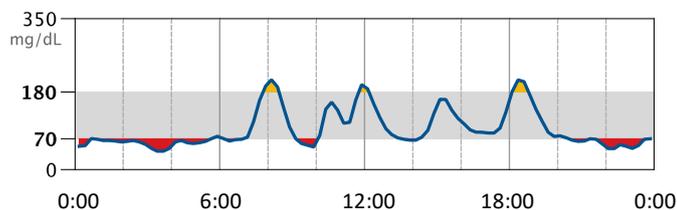
## 研究内容

胃切除後は晩期ダンピング症候群に代表されるように血糖が大きく変動し、患者のQOLを大きく損なうことが知られています。近年、持続血糖測定装置が開発され、それにより特に胃全摘後は血糖変動のみならず、高頻度に低血糖に陥っており、特に夜間に低血糖に陥っていることが明らかとなりました。

低血糖は不整脈や脳梗塞などの心血管イベントや認知症のリスクファクターであり、繰り返すと自覚しないようになる可能性がある（無自覚性低血糖）ため、さらに上記リスクが高くなります。

これを予防するためには、経口血糖降下薬により食事直後の高血糖を抑えることで晩期ダンピング症候群としての低血糖を抑えます。また、夜間低血糖に関しては、血糖が緩やかに上昇する栄養剤を眠前に摂取することで抑えられるのではないかと考えています。

胃全摘後の1日の血糖変動



Kubota T, Shoda K, Ushigome E, et al. Utility of continuous glucose monitoring following gastrectomy. *Gastric Cancer* (2020) 23:699–706.